

13 岩国エリア



500m



周防源氏武田氏屋敷跡
及び墓所



歴史の道 旧山陽道
看板



浄光寺

玖珂の地名の由来とされる、玖の玉(黒岩の玉)、珂の玉(瑠璃潔白)が野口の里から出現し、金光明寺(後の浄光寺)の霊泉で磨いたとされています。



祥雲寺

元は谷津にありましたが、江戸時代に現在地に移りました。1555年、防長侵攻を行った毛利元就との戦いである鞍掛合戦で討死した、鞍掛城主杉隆泰の墓があります。



田坂市良右衛門碑

市良右衛門は時の代官の悪政に対し改めるよう進言説得し、代官に盾突いた罪で投獄後、村民有志の訴えによって刑が軽くなり釈放されました。



欽明寺

第29代欽明天皇が御幸の際、休息され欽明の名をいただいて寺号としたと伝えられています。境内には「欽明天皇腰掛けの石」があります。



高森天満宮

周防三天神の一つで、学問の神様、菅原道真公が祀られています。



吉田松陰常宿の地石碑

かつて吉田松陰の親戚、岩本家の住宅があった場所で、定宿となっていたと伝えられています。



高森本陣跡

萩藩が高森に設けた本陣であり、現在は門だけが現存しています。藩主の参勤交代や幕府の役人の宿泊等に利用されました。



梶杜八幡宮

高森の八幡さんとして地元知られている神社です。また、豊臣秀吉が朝鮮出兵の際に休憩の陣所を置いたことも伝えられています。



菅原神社

菅原神社は菅原道真を祀っており、社叢のうちモミノキとサカキは、ひと際目立つ樹木で市指定文化財に指定されています。